

平成29年12月22日開催定例美祢市教育委員会会議録

開催日時 平成29年12月22日（金）午後2時15分から午後4時

開催場所 美祢図書館「視聴覚室」

出席委員

岡崎 堅次 教育長
前田 耕次 教育長職務代理者
秋山 信登 委員
金子 明美 委員
山本亜由美 委員

5人

出席教育委員会事務局職員

金子 彰 事務局長
千々松雅幸 // 教育総務課長
長谷川 裕 // 学校教育課長
西村 明久 // 生涯学習スポーツ推進課長
井上 辰巳 // 文化財保護課長
中島 幹晃 // 学校教育課主幹
石川 博之 // 美東事務所長
村田 活稔 // 秋芳事務所長
野尻 悟 // 教育総務課長補佐

9人

開 会

岡崎教育長

午後2時15分 委員全員の出席を確認し開会を告げ、署名委員に秋山委員、金子委員を指名する。

岡崎教育長

前回の会議録の承認について、事前に各委員へ配布された会議録への意見、質問を求める。

全員承認

岡崎教育長

行事関係について主なものを報告する。

11月22日(水)、計画訪問で大嶺小学校へ行った。

11月25日(土)、アジア国際子ども映画祭のため北海道北見市へ行った。別府小学校、秋芳中学校、成進高等学校がノミネートされ、秋芳中学校が入賞した。

11月27日(月)、12月議会一般質問があり、三好議員から給食センター等、杉山議員から秋吉台の環境保全、山中議員から通学費補助について質問が出た。

11月28日(火)、一般質問2日目で安富議員から統廃合に関する学校跡地利用について質問が出た。

12月1日(金)、総合教育会議があり公民館の在り方、ICT教育の充実、学校図書館の充実について、委員からの意見、市長からそれに対する回答をいただいた。

12月3日(日)、第10回美祢市駅伝競走大会がマツダ試験場で行われた。珍しく天気がよく、大きな事故もなく終了した。

12月9日(土)、古典いいとこどり講座の10回目と閉講式を行った。参加者のうち9名が10講座全てを受講した。

12月14日(木)、12月議会の本会議最終日を迎えた。給食センターに関する補正予算を計上していたが、修正案が出され削除された。

12月16日(土)、市民大学講座の第1回目を、講師に森永卓郎氏を迎えて実施した。約300人の市民が参加した。

12月17日(日)に川東小学校、12月19日(火)に東厚小学校の跡地利用に関する要望書が提出された。

以上で報告を終わる。

岡崎教育長

議案第1号「美祢市立小中学校管理規則の一部改正」について説明を求める。

長谷川学校教育課長

学校教育法の改正を受けての一部改正である。主な変更点は、事務の積極的な学校運営への参画を促すため、12条8項の中「事務職員は、事務に従事する」となっていたが、これが「事務職員は、事務をつかさどる」に変更になった。

岡崎教育長

委員に質疑を求める。

秋山委員

子どもたちの育成は学校全体で取り組んでいただきたい。議案については異議なし。

岡崎教育長

他に質疑がないことを確認し、議案第1号は承認される。

続いて、協議報告を各課から求める。

千々松教育総務課長

教育総務課に関する事項として次の1点について報告をする。

・給食センターの整備について

給食センターの整備方針については、11月の教育委員会会議で説明した通りで、これに係る予算を12月議会に計上した。賛成・反対それぞれ意見があり、結果として補正から削除された。問題になった点は、公共施設等の総合管理計画や市の中長期の財政計画（本庁舎の建替え、総合支所の建替え、消防庁舎の建替えなどの大型建設事業）がある中で、ここ数年間でそれらを実施した場合、財政的にもつのかという指摘があった。また、全庁的な取り組みの体制が出来ていないのではないのか、関係各課の共通認識が希薄ではないのかといったような指摘もあった。更にはPFI事業の導入についての検討、他市の導入事例の検討が不十分ではないのかというような意見や建設予定地についても、公共下水道の接続地域が良いのではないのかとか、今回補正で計上したが、補正で上げる緊急性があったのかという意見があった。

ただ、議会でも給食センター整備そのものに反対するという意見はなかったため、課題をひとつひとつクリアしていき、当初は平成31年の2学期から稼働予定としていたものが難しい状況になったが、あまり遅くならないうちに、議会からも早く検討して提案するようにとのことだったので、そのようにしていきたい。については給食センターのPFI導入可能性調査を考えており、1月の議会（臨時会）があるので、予算を計上していきたい。

前田委員

市庁舎の建設時期がある程度決まらないと、給食センターは進んでいけない気がする。

岡崎教育長

本庁舎の建設も今動き始めたばかりで、具体的に場所も決定していないし、いつまでの建設ということも具体的には出ていない。給食センターも大きなお金を使う事業であるので、市全体で考えていくようになると思う。ただ、給食センターの建設は早い方が良いという認識は、議員と執行部も共有している。

千々松教育総務課長

財政課が議会へ財政計画の説明を12月14日（金）にしており、一応理解いただいたと聞いている。その中には、給食センターの約14億、消防センターの14億、本庁舎が40億と総合支所の整備費が盛り込まれている。

秋山委員

給食センターの財源は合併推進債を使うつもりなのか。それとも過疎債を充てるのか。

千々松教育総務課長

過疎債を考えている。

岡崎教育長

給食センターについては動きがあれば教育総務課から委員に諮っていきたい。

長谷川学校教育課長

学校教育課に関する事項として次の2点について報告をする。

・英検の受験者数の推移について

美祢グローバル人材育成事業の中に英検受験料の全額補助があり、その受験者数が小学校において増加傾向にあることを報告したい。これについては色々な投げかけ等により保護者等の認知が進んだことがある。それに加え、毎月行っているイングリッシュクラブの部員は全員受けることを前提にして進めた。中学生についても、各学校とも全員受験に向け指導をしている。受験率は現在85%で、伊佐中学校が全員受験すれば受験率が100%になる。

英語教育が随分様変わりをしてきている。2020年の大学受験から大きな変化が起こってくるが、「聞く・話す力の育成」に重点が置かれていることが少しずつ保護者にも理解が進んできている。国は2020年度、英検3級の中学校3年生の合格率を約50%にしたいという数値目標を設定している。現在、美祢市の合格率は30%であり少ないように見えるが、山口県でトップであり、更にこれが進んで、力をつけて50%に近づくように努力していきたい。

・別府小学校の「山口県ふるさとCM大賞」受賞について

別府小学校がt y s テレビ山口の「山口県ふるさとCM大賞」に応募し、グランプリと優秀賞の2つの賞を受賞した。明日その放映がある。

金子委員

沖縄の研修会でも、中3の子どもを対象に受験料の補助をしているという話題があった。美祢市は、小学生も中学生も補助対象として幅広く対応しており、地道な取組みが良い方向に行って、子どもたちへの興味、保護者への周知、色々な面で功を奏していると思う。是非継続の方向で行けば良いと思う。

西村生涯学習スポーツ推進課長

生涯学習スポーツ推進課に関する事項として次の3点について報告をする。

- ・古典いいとこどり講座について

12月9日（土）に10回講座を修了した。登録制にしており45人が登録していたが、全講座の受講者は9名であった。

- ・アジア国際子ども映画祭について

11月25日（土）に北海道北見市で行われた第11回アジア国際子ども映画祭では、73作品のノミネートがあり、秋芳中学校が入賞した。受賞作品「糸」は、今アジア国際子ども映画祭のホームページで見ることができる。

- ・綾木小学校PTAについて

綾木小学校PTAが「PTAの健全な育成と発展に資する優良団体」として、優良PTA文部科学大臣表彰を受賞した。活動内容は3つの柱になっている。一つは「親子で繋がるPTA活動」で、特に「親子読みあいの会」として絵本を親子で読みあうという活動である。2番目は「地域に貢献し、地域と繋がるPTA」で、春と夏に地域周辺の環境整備の作業や、地域の運動会への参加等をしている。3番目は「共に育つPTA」で、児童クラブの運営や子育て交流のため「子ども通信」を発行しており、保護者同士で声を掛け合いながら情報交換している。一過性ではなく長年取り組んできた学校・家庭・地域を繋ごうという活動に対し表彰されたものである。

井上文化財保護課長

文化財保護課に関する事項として次の1点についてお知らせをする。

- ・ミニ特別展について

化石館のエントランスでミニ特別展を行っている。今年度は「生きている化石」をテーマに、夏にはカブトガニに関する展示を行い、現在はイチョウに関するミニ特別展を行っている。職員手作りのイチョウの葉を使ったしおりのプレゼント等もあり是非足を運んでいただきたい。

石川美東事務所長

美東事務所に関する事項として次の1点についてお知らせをする。

- ・年始の行事について

元旦1月1日(月)、初日の出の登山を大田公民館、真長田公民館で実施する。どんど焼きは1月9日(火)始業式の日赤郷地区と大田地区、1月14日(日)に綾木地区と真長田地区で実施する。

村田秋芳事務所長

秋芳事務所に関する事項として次の2点についてお知らせをする。

- ・年始の行事について

どんど焼きを1月8日(月)に秋吉地区が秋吉小学校で、嘉万地区が嘉万公民館で実施する。

- ・やっぴ美一ね体操の実施について

婦人学級という年6回開催する定例の公民館事業があり、その中で美祢市の健康増進課の保健師が考案・監修した「やっぴ美一ね体操」を実施する。

岡崎教育長

以上で協議報告を終了する。

続いて「市町村教育委員会研究協議会について」委員に復伝を求める。

- ・第1分科会「子どもの貧困対策にかかる教育委員会の取組について」

岡崎教育長

大阪府箕面市と沖縄県沖縄市の二つの事例を資料に沿って説明する。

- ・第2分科会「学力向上の取り組み」

金子委員・山本委員

沖縄県竹富町と埼玉県戸田市の二つの事例を資料に沿って説明する。

- ・第3分科会「総合教育会議・教育大綱の活用について」

秋山委員

福岡県大野城市、沖縄県恩納村、沖縄県浦添市の三つの事例を資料に沿って説明する。

前田委員

この会議を通じ、美祢市の総合教育会議はどうあるべきかを考えてみた。開催については年に最低2回がいいと思う。会議では、まず市長に学校の現状を知ってもらうことが大事だと思う。来年度こういう新規の事業がしたいということ、私たちが市長に提案する場がまず1回、2回目にその成果を報告すればよいと思う。それから、市長は教育についてどういう風に考えているかを委員会の中で聞くことも大事だと思う。年に最低2回、学校の現状報告、事業の提案、市長の考え方という内容にもっていったらいいと思う。

岡崎教育長

年2回というのも、提案ということで事務局として検討させてもらえたらと思う。

前田委員

1回でも良いと思う。次の年に、「昨年提案したものについてはこういう風な成果が上がっております」とか、そういう形の発表になっても良いと思う。

岡崎教育長

年1回はやらないといけないが必要に応じて2回の年があっても良いのではと思う。

前田委員

第1分科会の資料を見ると、組織として教育委員会に幼稚園を含んで考えていくという捉え方をしている。箕面市は「子ども未来創造局」の中に、教育委員会と福祉部局がある。沖縄市の場合でも同様である。美祢市の場合には、保育園は福祉、小中の学校は教育委員会と所管が分かれており、その兼ね合いが難しい。それを一つの組織にすれば、幼・小・中の一貫した教育と一緒に協議できると思う。今後の課題だと思う。

岡崎教育長

今後の大きな課題でもあるし、これをひとつの組織にしようとする、大鉤を振るわないといけないので、市長の考えも聞きながら考えていけたらと思う。

以上で復伝を終了する。

次回の教育委員会会議の開催について事務局に提案を求める。

金子事務局長

次回の定例教育委員会会議は平成30年1月30日（火）午後2時から美祢図書館視聴覚室において開催する旨を通知。

岡崎教育長

午後4時教育委員会会議の終了を告げる。